

和泉小学校のみなさん、おはようございます。

先週は、素晴らしい展覧会でしたね。今日は、みんなで先週の展覧会を振り返ってみたいと思います。

さて、本当は、2月12日(金)、13日(土)の二日間が展覧会でした。しかし、緊急事態宣言が出されてしまったため、おうちの方々に学校に来ていただいていた鑑賞ができなくなりました。そこで、展覧会の期間を少しのばして、みなさんがじっくり鑑賞した作品をタブレットに撮って、おうちの方々に説明して鑑賞していただく、という形式にしました。ぜひ、お気に入りの作品を見つけて、伝えてほしいなと思います。

では、画面を見てください。展覧会場に入ると、もうそこは、もはや「体育館」ではなく、展覧会そのものでした。入口から、もう展覧会の始まりで、「いずみ展」の文字がアートになっていました。さらに、会場に入ってみると、みなさんの作品と上からつるされた市松模様のデザインが迫ってきて、ものすごい迫力でした。

1年生は、「ピコりんせいのおともだち」です。一人一人がちがう衣装を着ていて、紙や布にペンや貝殻で工夫してつくられていました。表情も一人一人ちがいますね。そこにいるだけで、楽しくなりました。

2年生は、「IZUMI タワー」です。こんなに高いタワーをどうやってつくったんだろう！とびっくりするくらい力作がたくさんありました。また、思い思いの色をつけてとてもきれいでした。

3年生は、「のこぎり引いて、ザクザクザク」です。初めてのこぎりの使い方を学び、のこぎりで楽しく様々な形をつくったあと、それを組み合わせたり重ねたりして、思い思いの動物や物をつくっていました。

4年生は、「コーネルの秘密の部屋」です。部屋の中に、自分が一人、あるいは何人かいて、自分のお気に入りの空間をつくっていました。自分だけの空間を楽しんでいる様子がよくわかりました。

5年生は、「電のこドライブ」です。初めて電動糸のこぎりを使って作った作品です。思い思いに切った形と色を集めてつくっていました。作品名のつけかたもとても個性的で、鑑賞が楽しくなりました。

6年生は、「最後の一枚」「Myチェア」です。最後の一枚は、お気に入りの場所などを一枚の絵にしたものです。お気に入りだけあって心温まる色づかいや、丁寧に仕上げた様子がよくわかりました。Myチェアは、座り心地のよさそうなものから、とても椅子には見えないけれど芸術的なものまでありました。

一つ一つの作品に、それを作った理由があり、一人一人の考えが詰まった世界でたった一つの作品ばかりでした。

この写真は、鑑賞している人たちです。真剣に作品を見ている様子が伝わってきますね。共同作品も体験しながら鑑賞していました。このお友達のように、ステージの上で夢中になって鑑賞カードにかいている人もいました。

最後に、私が気に入った作品を紹介します。これは、海を題材にした絵です。この色づかいを見ていると、なんだか心が落ち着いてきました。この色づかいがとても気に入りました。これは、「支え合い、そびえ立つ木」という作品です。作品ももちろんですが、この作品名の付け方が素敵だなと思いました。次は、「悲しむより楽しもう」です。悲しい顔や楽しい顔がたくさん集められています。私も、悲しむより楽しもう！と勇気づけられました。

最後に、今回の展覧会のテーマを覚えていますか？こうして、写真をたくさんみてきましたが、ごらんとおり、どの作品をとっても、一つとして同じ作品はありませんし、それぞれのよさがありますね。

「みんなちがって みんないい」

これが、今回の展覧会のテーマです。

本当に、みんなちがって、みんなとても素晴らしい作品ばかりでした。

すてきな展覧会を、ありがとう。これで、お話をおわります。